

ミカエリソウ*Leucosceptrum stellipilum* (Miq.) Kitam.
et Murata

岡山県：留意

環境省：該当なし

被子植物門 双子葉類 合弁花群

シソ科

選定理由

群生することが多いが、その生育地は多くない。スギ植林地の林床に生育するものは、今後人為的な影響を受ける恐れがある。

存続を脅かす要因

森林伐採、道路工事（林道工事）

分布状況

岡山県では東部から北部に分布し、ブナ帯域に多い。林下、林縁、沢沿いなどに生える。県外では福井県以西に分布する。

生育情報

高さ40～100cmになり、下部が木質化する半低木。枝は葉の裏面や花序と同様、密に星状毛がある。葉は対生し、だ円形～長だ円形、鈍い鋸歯があり、1～5cmの葉柄がある。花期は9～10月。枝先に10～15cmの花穂を出し、紅紫色の花をつける。花冠からは雄しべと、雌しべが突き出る。

特記事項

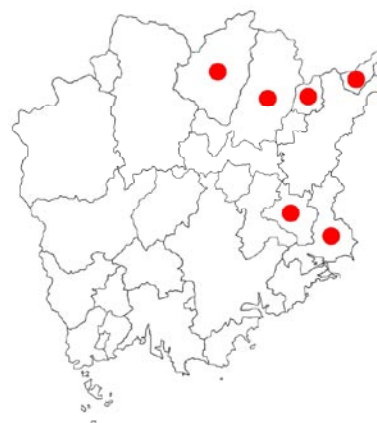
「自然公園法」による氷ノ山後山那岐山国定公園の指定植物である。

文献番号 4, 105, 121, 130

(地職恵)



撮影：地職恵

**マネキグサ***Loxocalyx ambiguus* (Makino) Makino

岡山県：準絶滅危惧

環境省：準絶滅危惧

被子植物門 双子葉類 合弁花群

シソ科

選定理由

生育地が限定されており、個体数も多くない。生育環境が悪化すれば絶滅に瀕する可能性が高い。

存続を脅かす要因

道路工事（林道工事）、森林伐採、管理放棄、産地局限

分布状況

岡山県内では中部と北西部に分布し、山地の木陰や林縁に生育する。石灰岩地で見かけることが多いようだ。県外では本州（神奈川県以西）、四国、九州に分布する。

生育情報

茎は四角で直立し、高さ40～70cmの多年草。葉にはあらくて大きな鋸歯があり、1～3cmほどの葉柄がある。花期は8～9月。花は暗紅紫色で白色の縁取りがあり、1～3個を葉腋につけ、花冠の下唇は3裂する。別名、ヤマキセワタ。

文献番号 4, 105, 121, 130

(地職恵)



撮影：地職恵

